

職場の声を届けます 今年度の重点はこれだ!

越教組ニュース

越谷市教職員組合
ホームページ



越教組は、市教委交渉を行い学校現場の声を届けています。越教組からの今年度の重点要求項目は、以下の見出しの通りです。交渉の様子・回答は、次号以降でお知らせします。

① 時間外労働の是正

「隠れた勤務」＝時間外の勤務を前提とした教育活動の是正を求めます。例えば登校時の健康カードのチェック。多くの学校は勤務時間前に行っています。運動会や体力測定のための朝のライン引き、これらも勤務時間前に行っています。休憩時間中の代表委員会やリレー練習・応援団練習、通学班指導などは、本来休憩時間の変更が明示され

なければなりません。

勤務時間の割振りは校長の権限ですが、これらが何らの措置がされていない学校があります。市教委には、実態をみて指導・監督をする責任があります。すべての学校で、時間外勤務を必要最低限なものに限り、調整や休憩時間の変更は当たり前前に取れるよう要求します。

② タブレットの導入で大混乱

急に一人一台タブレットが持ち込まれ、各学校では大変。端末やキーボードと児童生徒との紐づけ、ラベル貼り、カバリの購入、学校によっては保護シートを教職員に貼らせたりカバリを付けさせる学校も。さらに、無線環境が悪く、授業では活

用させられない事態も生じています。これ以上、現場に負担をかけないで、一刻も早く授業で使える環境を整えることを求めます。



③ 変形労働時間制

平日の勤務時間が延ばされれば、現在の超過勤務が勤務時間にカウントされるからいいなんて思っているかもしれません。今放課後にやっている研修や会議が公然と延長されることになるでしょう。春日部市では現教育長

が、「自分が在任中は導入しない」と、また飯能市の教育長は、「最後の一つになっても導入しない」としています。県が条例を可決し、地教委の判断で導入できるとなっても、越谷市としては導入しないことを求めます。

④ 3学園でなく新設校を

3学園構想については、該当校の保護者には説明会を終了したとのことですが、ここでも大規模化によるデメリットの説明はありませんでした。また、直接関わりがあるのは未就学児なので、その関係者にこそ説明をすべきです。

今までの説明会で出された蒲生学



園の小中でのプールの共有問題は、どうなったのでしょうか。レイクタウンに新設校の土地がないか検討したとのことですが、地権者が多いなどから直接交渉したところは一つもないと聞きます。一時の児童生徒増への対応ということでは、土地の借り上げという方法もあるのではないのでしょうか。既定の計画に縛られない改善策を探してほしいものです。

⑤ 小四の三十五人学級は選択制で

越教組は、昨年度末に、対象校が35人学級を選択した場合にはその選択を尊重するように申し入れをしました。市教委は、「準備が間に合わない」と、新たな加配が見込めない」と学校に選択をさせませんでした。

本場に準備が整わないというのは何校あったのでしょうか。さらに、加配が来ないことを実施しない理由に上げたことは重大です。これでは来年度以降も、物理的に準備ができて加配がなければ越谷市は35人学級を実施

施しないということになってしまいます。代替が平日通りに来ないので、少人数指導加配教員を配置しておきたいというのは分かります。しかし、それでも実施したいという事情の学校もあります。来年度は小4が選択該当学年になります。学校の選択を尊重してほしいものです。

⑥ 給食費の徴収は市で

給食費の徴収事務については、学校に下ろさず、市の責任で行うことを求めます。突然始まった「栃木銀行」と「ゆうちょ銀行」によるインタ

ーネットバンキングは、学校への負担が大きく、特に事務職員への負担が大きいのので、徴収システムを改善するよう求めます。

⑦ 未配置問題

毎年学校で大混乱と大負担を強いている未配置問題。いくら市教委が頑張っても、人が来ない現実には解決できません。昨年度の間合小は、二学期途中から担任二人が産休に入り、その代替は年度末まで来ませんでした。

欠点を指摘し、定数は正採用者でまかなうくらいの本格的解決を県教委に具申することを求めます。

